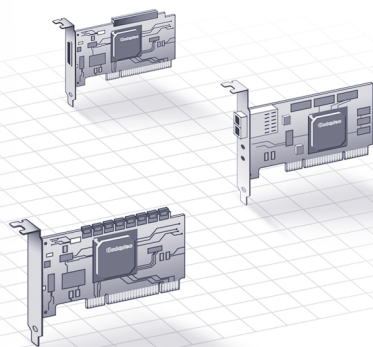
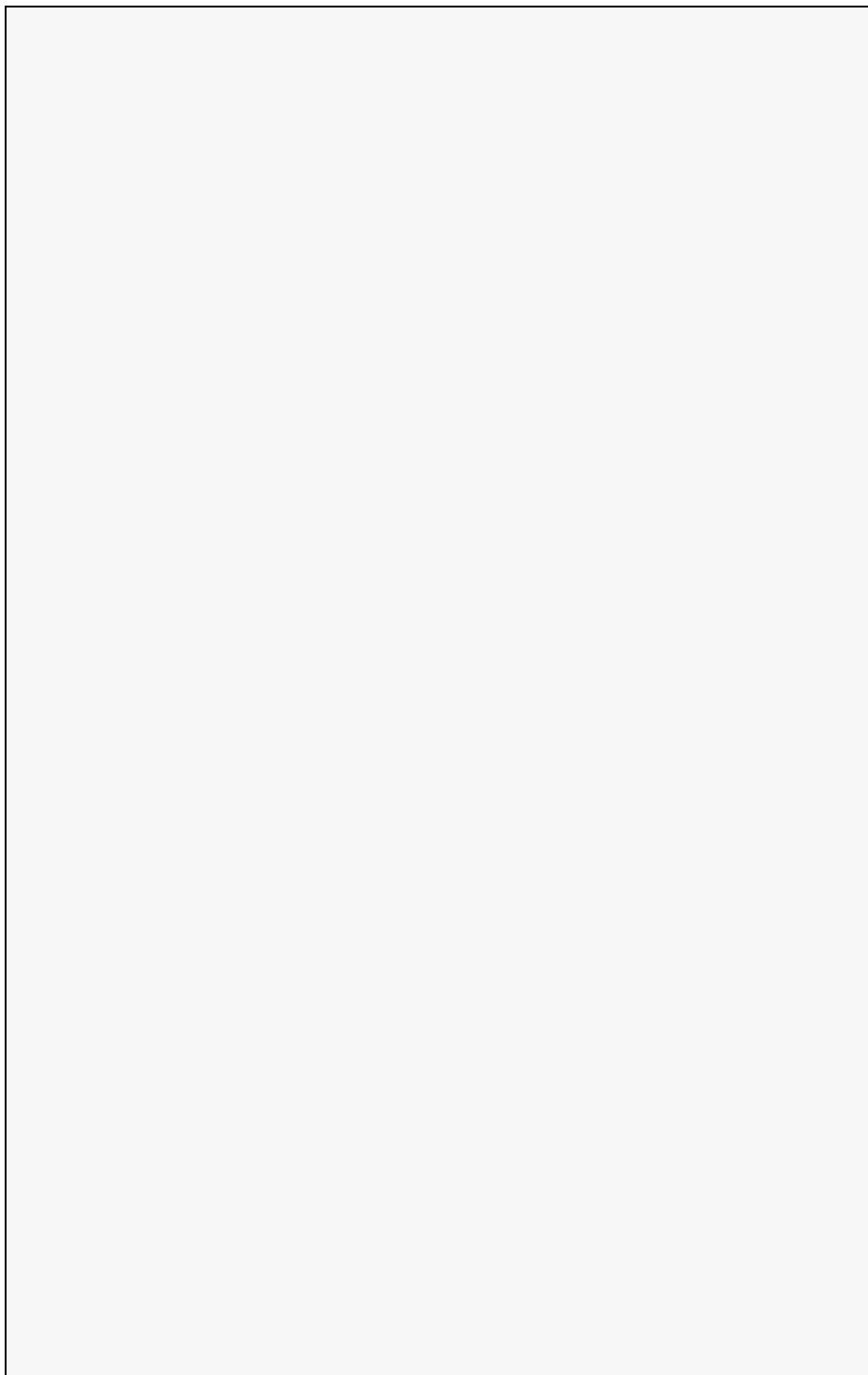


adaptec®

# SAS and SATA HostRAID Controllers

## クイックスタートガイド





# はじめに

本クイックスタートガイドでは、Adaptec HostRAID コントローラをインストールし、ブータブル RAID 0、1、10 アレイを作成し、オペレーティングシステムとコントローラドライバをアレイ上に作成する方法について説明します。

その他のインストールの方法については、HostRAID インストール CD に収録の *HostRAID Controllers インストールおよびユーザズガイド* を参照してください。

---

**メモ:** 本書に記載のコントローラや、サポートする オペレーティングシステムおよびドライバのダウンロードには、[www.adaptec.co.jp](http://www.adaptec.co.jp) を参照してください。

---

## キットの内容

- ✓ Adaptec SAS または SATA HostRAID コントローラ  
以下のユーティリティがコントローラの BIOS に組み込まれています。
  - **ACU (Array Configuration Utility)**— アレイの作成、初期設定、管理に使用します。
  - **SerialSelect** または **SATASelect**— お使いのコントローラやディスクドライブの設定を変更します。
  - **Disk Utility**— ディスクドライブのフォーマットおよびベリファイに使用します。
- ✓ HostRAID インストール CD (ブータブル)、コントローラドライバ、*SAS and SATA HostRAID インストールおよびユーザズガイド* を同梱
- ✓ Adaptec Storage Manager インストール CD (ブータブルではない)、Adaptec Storage Manager 及び Adaptec HRCONF (HostRAID Configuration) コマンドラインユーティリティを同梱
- ✓ 「Readme」ファイル
- ✓ ケーブル (タイプと数は異なります。— 全てのコントローラキットに同梱されているわけではありません。)
- ✓ ロープロファイルブラケット (特定のモデルのみ)
- ✓ *SAS and SATA HostRAID Controllers クイックスタートガイド*

## Step 1 コントローラの取付け

**⚠ ご注意:** 静電気放電 (ESD) によって HostRAID コントローラが損傷する可能性があります。静電気による損傷を防ぐため、コントローラは慎重に扱ってください。

- a ロープロファイルのコンピュータ ケースを使用している場合は、元のフルハイトブラケットをコントローラ キットに同梱されているロープロファイル ブラケットと交換します。
- b コンピュータの電源を切り、電源コードを抜きます。
- c コンピュータのカバーを取り外します。
- d 利用可能な PCI、PCIe、PCI-X スロットのカバーを取り外します。

**メモ:** 64 ビット スロットを使用すると、より良い性能が得られます。

- e PCI、PCI-X、PCIe スロットにコントローラを取り付け、コントローラのブラケットをコンピュータ本体に固定します。
- f オプション — コンピュータのディスク アクセス LED のケーブルを、コントローラの適切な LED コネクタに接続します。
- g 内部ディスクドライブを適切なケーブルを使用して接続し、コンピュータ カバーを閉めます。
  - 最小でも RAID 0、1 には 2 台の、RAID 10 には 4 台のディスクドライブが必要です。
  - コネクタはすべて上下の形が違うので、ケーブルは一方向にしか合いません。
  - コントローラやドライブに無理にケーブルを入れようとしないで下さい。コネクタが、簡単に入っていかなければ、反対側を試してください。

## Step 2 アレイの作成

ディスクドライブやコントローラに接続しているアレイにオペレーティングシステムをインストールする場合は、この項に従います。それ以外の場合、4 ページの Step 4 ドライバディスクの作成に従います。

**メモ:** Adaptec 1225SA コントローラは、ブートデバイスをサポートしていませんので、既存のオペレーティングシステムにドライバをインストールします。

- a コンピュータの電源をオンにし、プロンプトで **Ctrl+A** を押して ARC (Adaptec RAID Configuration) ユーティリティを開きます。ARC を使っ

て、RAID アレイとオペレーティング システムのインストールに必要な論理ディスクドライブを作成します。

**b** ARC メニューから **Array Configuration Utility (ACU)** を選択します。

**c** ACU メニューから **Create Array** を選択します。

**d** 新しいアレイに使用するディスクを選択し、**Insert** を押します。

お使いのドライブがグレイに見えたら使用できません。初期化が必要です。詳細については、*SAS and SATA HostRAID Controllers* インストールおよびユーザーズガイドを参照ください。

**e** **Enter** キーを押します。Array Properties メニューが表示されます。

**f** アレイタイプを選択し、**Enter** を押します。

RAID 0、RAID 1、RAID 10 が選択可能です。アレイタイプの詳細については、*SAS and SATA HostRAID Controllers* インストールおよびユーザーズガイドを参照ください。

アレイが作成されると、Adaptec Storage Manager を使用してプロパティを変更することができます。

**g** オプション — アレイのラベルを入力して **Enter** を押します。

**h** **RAID 0 と RAID 10 のみ** — ストライプ サイズを選択します。16、32、64 KB (初期値) が選択可能です。

---

**メモ** : 初期値のストライプサイズを受け入れることをお勧めします。

---

**i** 必要な作成方法を選択します。詳細については、*SAS and SATA HostRAID Controllers* インストールおよびユーザーズガイドを参照ください。

- **RAID 0—Quick Init** (初期値) または **Migrate** を選択します。
- **RAID 1—Build** (初期値)、**Clear**、または **Quick Init** を選択します。
- **RAID 10—Clear** または **Quick Init** (初期値) を選択します。

---

**⚠** **ご注意** : Migrate オプションを使用した RAID 0 アレイの作成は中断しないでください。詳細については、*SAS and SATA HostRAID Controllers* インストールおよびユーザーズガイドを参照ください。

---

**j** アレイが構築されたら、オペレーティングシステムのドライバをインストールします。

- **Windows 2003** や **Windows XP**—4 ページ
- **Windows Vista**—5 ページ
- **Red Hat Linux**—5 ページ
- **SUSE Linux**—6 ページ
- **Netware**—6 ページ

## Step 3 ブートシーケンスの設定

コンピュータの BIOS セットアッププログラムにアクセスし、ブートシーケンスを変更する作業は、コンピュータにより異なります。お使いのコンピュータの説明書を参照してください。手順は、下記のようなものです。

- a** 起動中に、キーボードの組み合わせで（例：<F2>,<F1>,<DEL> など）、BIOS セットアッププログラムが起動します。
- b** ブートシーケンスを設定するメニューを選択します。下記の Step 4 を実行するために、CD ドライブを一番先にします。
- c** ディスクドライブのブートする優先順を設定するメニューを選択します。HostRAID コントローラをこのシーケンスでは最初にします。
- d** 変更を保存し、セットアップを終了して、コンピュータを再起動します。

## Step 4 ドライバ ディスクの作成

ドライバをインストールする前に、ドライバディスクの作成が必要です。ドライバのディスクを作成するには、以下の手順に従います。

- a** Adaptec HostRAID インストール CD を挿入し、コンピュータの電源を入れ、CD からブートします。
- b** 画面上の指示に従って、CD メニューを表示します。
- c** **Create Driver Disk** をクリックし、オペレーティングシステムを選択します。
- d** フロッピーディスクを挿入し、**OK** をクリックします。ドライバディスクが作成されます。
- e** ドライバディスクを取り出し、ラベルを貼ります。
- f** オペレーティングシステムとコントローラ ドライバのインストールへ進みます。

## Step 5 オペレーティングシステムにコントローラドライバのインストール

### Windows 2003/XP

- a** Windows CD を挿入し、コンピュータを再起動します。
- b** サードパーティ製のドライバのインストールを求められたら、**F6** キーを押します。

---

**メモ** : F6 キーの機能がアクティブな 5 秒間だけ画面下部にプロンプトが表示されます。F6 キーを押せなかった場合は、コンピュータを再起動してください。

---

- c** ドライバディスクを挿入し、ドライバのインストールを求めるメッセージが表示されるまで待ちます。
- d** ドライバがフロッピーディスクにあることを指定するために **S** キーを押して、**Enter** を押します。コンピュータがディスクを読み取ります。
- e** ドライバが検出されたら、**Enter** を押します。画面上の指示に従ってインストールを行います。

## Windows Vista

- a** Windows CD を挿入します。
- b** サードパーティ製のドライバのインストールを求められたら、**Load Driver** をクリックします。
- c** ドライバを選択し、**Next** をクリックします。ボリュームアレイが一覧表示されています。
- d** **Drive Option** をクリックして、ボリュームサイズを変更できます。**Next** をクリックしてインストールを開始します。

## Red Hat Linux

- a** Red Hat CD Disk 1 を挿入してください。
- b** コンピュータを再起動します。
- c** Red Hat の Welcome 画面が表示されたら、ブートプロンプトで `expert` または `linux dd` と入力します。
- d** メッセージが表示されたら、作成したドライバディスクを挿入し、**OK** を選択します。
- e** 画面の指示に従って、希望の環境をセットアップします。
- f** 他のサードパーティのデバイスをインストールする際は、ここでインストールします。取り付けない場合は、**Done** を選択します。
- g** 画面上の指示に従って Red Hat のインストールを行います。

## SUSE Linux

- a** SUSE CD Disk 1 を挿入してください。
- b** コンピュータを再起動します。
- c** SUSE Installation メニューが開いたら、F6 キーを押し、メニューから必要なインストールオプションを選択して **Enter** を押します。
- d** メッセージが表示されたら、作成したドライバディスクを挿入し、いずれかのキーを押して処理を続けます。
- e** 画面の指示に従って、希望の環境をセットアップします。
- f** 他のサードパーティのデバイスをインストールする際は、ここでインストールします。取り付けない場合は、**Done** を選択します。
- g** 画面上の指示に従って SUSE のインストールを行います。

## NetWare

- a** コンピュータを再起動し、NetWare をインストールします。(詳細は、NetWare の説明書を参照してください。) 後で追加のドライバをロードするために、インストール作業の最初の部分で、**Manual** でのインストールモードを選択します。追加でドライバをロードするには、以下の手順に従います。
  - 1** ストレージアダプタが表示された場合には、**Modify** を選択します。
  - 2** **Storage adapters** を選択し、**Insert** を押して、リストにないドライバをフロッピーディスクから追加します。
- b** Device Types 画面が表示されたら、**Storage adapters** リストにチェックマークを付けたか確認し、**Modify** を選択して別のドライバを追加します。
- c** **Storage Adapter** を選択し、**Enter** キーを押します。認識されたコントローラが全て一覧表示されます。
- d** (**オプション**) 初期値の HostRAID SAS, ドライバ <drivername> ham を削除します。
- e** **Insert** を押して、別のドライバを追加します。使用可能なドライバが一覧表示されます。
- f** ドライバフロッピーディスクを挿入します。
- g** **Insert** キーを押して、フロッピーディスクドライブをスキャンします。ドライバが選択されると、パラメータ画面が表示されます。
- h** 下のウィンドウメニューから、**Continue** を選択し、**Enter** を押します。
- i** NetWare の説明書を参照して、インストールを完了します。



## Step 6 Adaptec Storage Manager のインストール

Adaptec Storage Manager をインストールする前に、管理者または root でログインしているか確認します。また、古いバージョンの Adaptec Storage Manager を削除する必要があります。古いバージョンで作成したカスタマイズ ファイルが保存されアップグレード環境で使用されます。Windows と Linux で、Adaptec Storage Manager は、Java Runtime Environment (JRE) を含んでいます。

Adaptec Storage Manager を削除するには、以下の手順に従います。

- **Linux**—`rpm --erase StorMan` をタイプします。
- **Windows 2003 と Windows XP**—コントロールパネルから、プログラムの追加と削除 オプションを使用します。
- **Windows Vista**—コントロールパネルに進みます。プログラムの下のプログラムのアンインストールを選択し、Adaptec Storage Manager を選択して、アンインストールをクリックします。

---

**メモ** : Windows Vista では、コントロールパネル ホームビューからどのプログラムでも削除することができます。

---

### Windows へのインストール

- a Adaptec Storage Manager インストール CD を挿入します。インストールプログラムが起動します。起動しない場合は、CD を参照し、**Autorun** をダブルクリックします。
- b 画面上の指示に従ってインストールを行います。

### Linux へのインストール

---

**メモ** : Linux のサポートに関する最新情報については、<http://www.adaptec.com> または <http://www.adaptec.co.jp> を参照してください。

---

- a Adaptec Storage Manager インストール CD を挿入します。
- b CD をマウントします。

```
mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```
- c cdrom ディレクトリに変更します。

```
cd /mnt/cdrom/linux/manager  
cd /mnt/cdrom/linux_x64/manager (64 ビットの場合)
```
- d RPM パッケージを抽出して、インストールします。

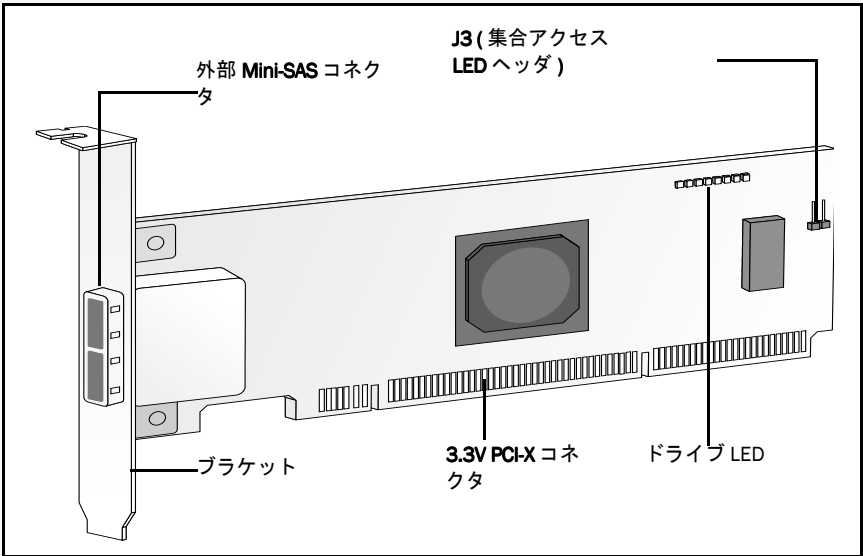
```
rpm --install StorMan*.rpm
```
- e Adaptec Storage Manager CD をアンマウントします。

```
umount /mnt/cdrom
```

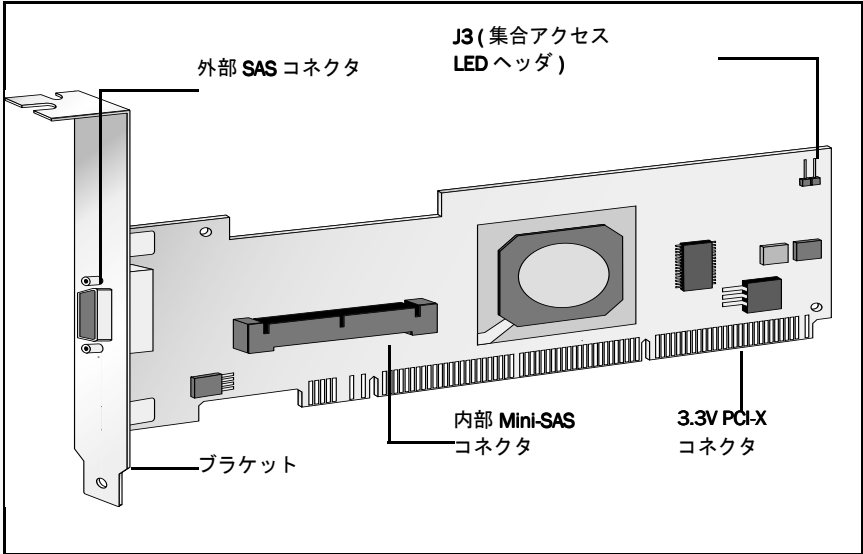
# HostRAID コントローラについて

以下のコントローラは、UL 取得済みのコンピュータと、サーバとネットワーク機器を含む ITE(Information Technology Equipment) でのインストールと使用のための UL 安全規格に適合しています。

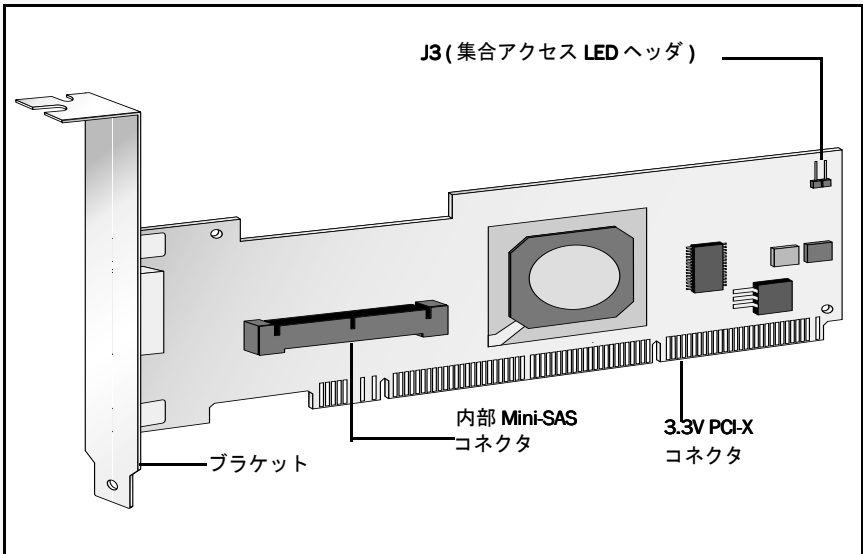
## SAS 58300



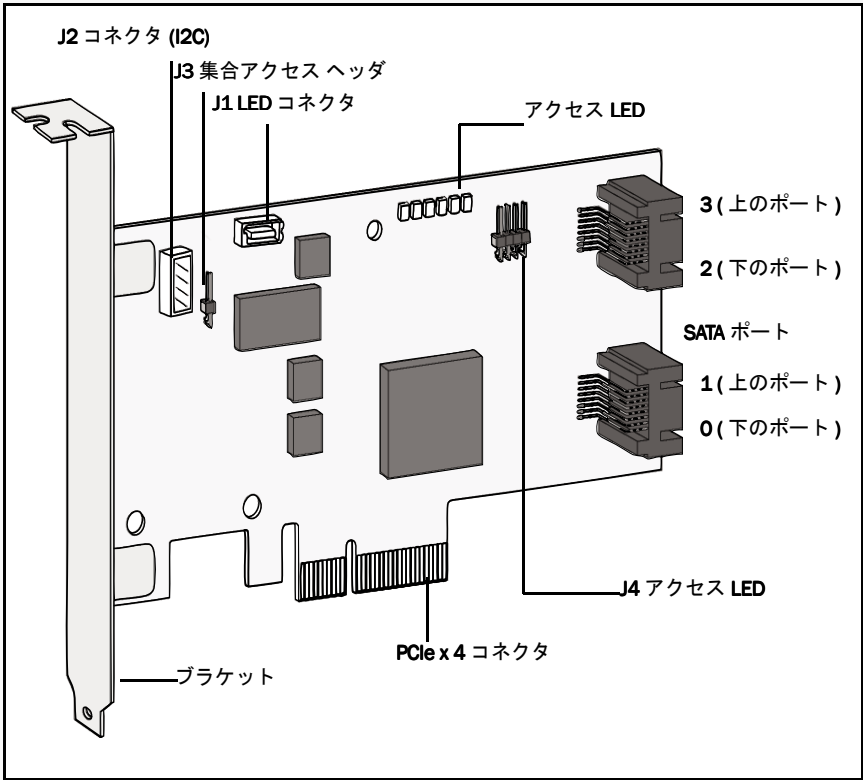
# Adaptec 48300



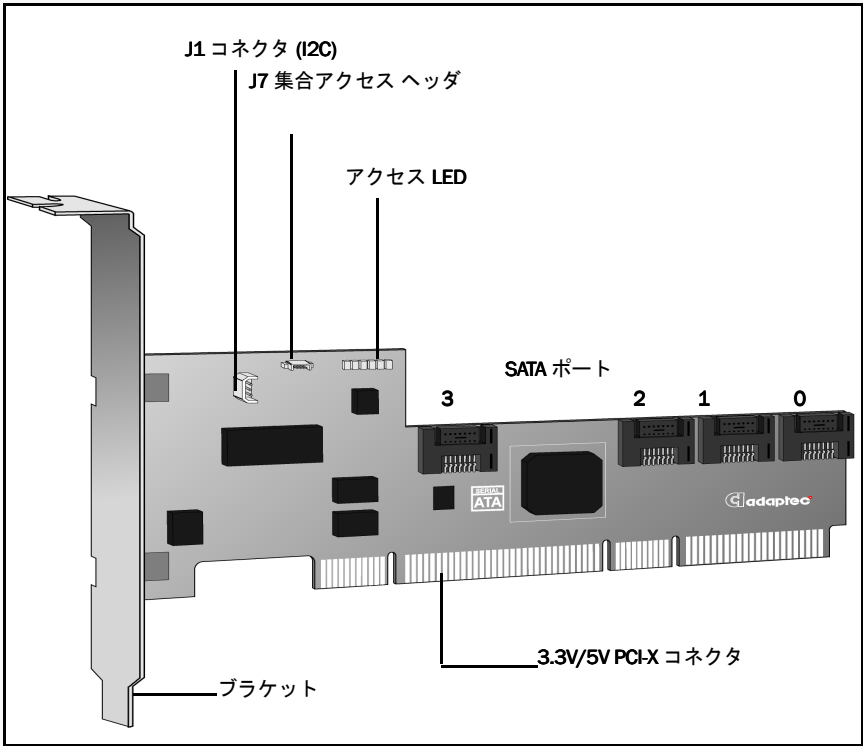
# Adaptec 44300



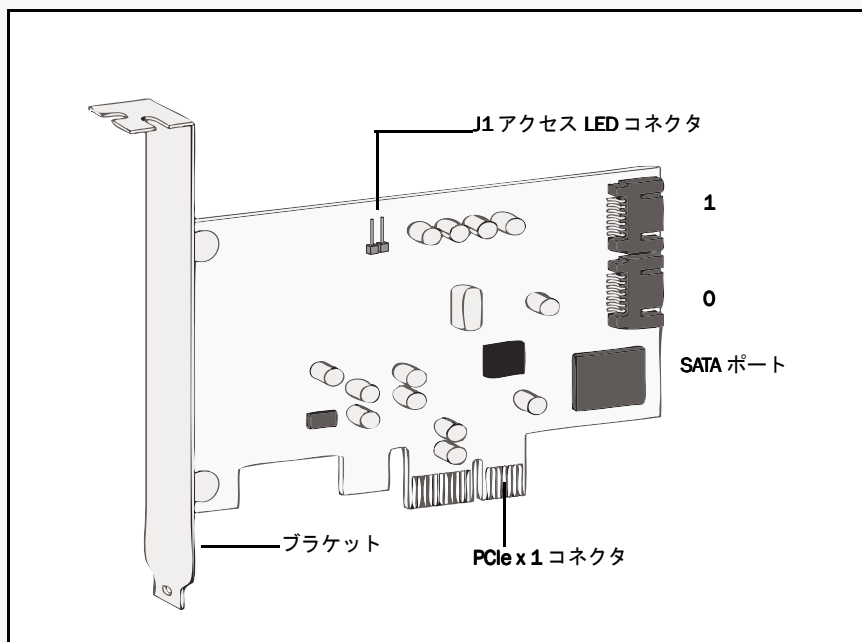
# Adaptec 1430SA



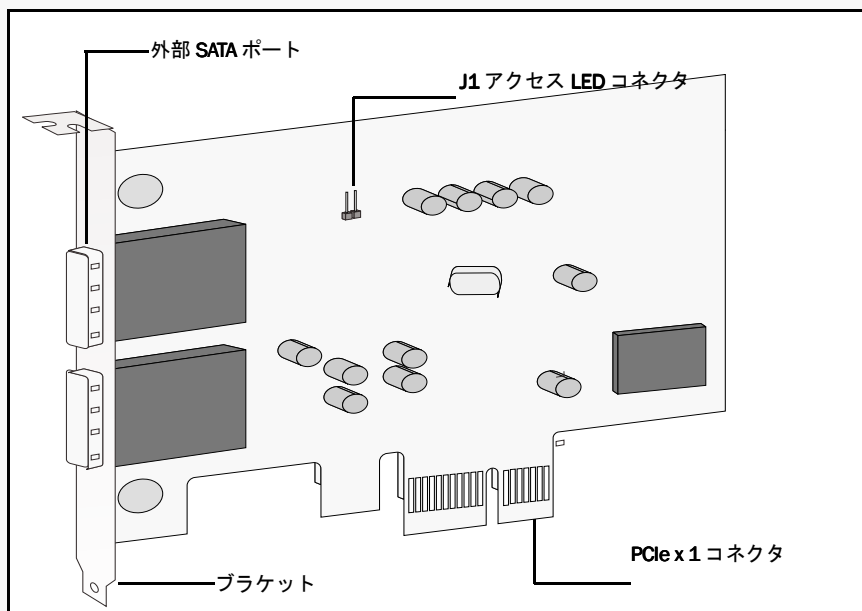
# Adaptec 1420SA



# Adaptec 1220SA



# Adaptec 1225SA



**adaptec**<sup>®</sup>

Adaptec, Inc.  
691 South Milpitas Boulevard  
Milpitas, CA 95035, USA

©2007 All rights reserved. Adaptec and the Adaptec logo are trademarks of Adaptec, Inc., which may be registered in some jurisdictions.

Part Number: MAN-00221-02JA-A, Rev A  
EU 09/07